

◇ 令和2年度 指定管理者事業評価書

施設名	草津市立文化ホール		指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針	
施設所管課	教育委員会事務局	生涯学習課	初年度	120,678,616円	21,246,610円	148,264,374円	計画通りの利用料金収入を確保し、計画的に予算執行を行った。	市民の文化の向上と芸術の振興を図り、文化芸術を通じたまちづくりを進める。
施設HPアドレス	http://www.creahall.net/ http://www.amicahall.net/		2年目					
指定管理者名	(公財)草津市コミュニティ事業団		3年目					
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日		5年目					

●総合評価の基準	
5	☆☆☆☆☆ 評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆ 評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆ 評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆ 評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆ 評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	利用料金制
指定管理者による運営開始日	アミカホール:平成23年4月1日 クレアホール:平成27年1月1日
施設の供用開始日	アミカホール:平成4年5月6日 クレアホール:平成27年1月1日
指定管理導入前の運営形態	アミカホール:市直営 クレアホール:県営

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆
令和2年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
① 協働型の文化芸術事業の実施 ② 地域文化をまちづくりに活かした事業の実施 ③ 知りたい情報が収集しやすい情報の発信 ④ 誰もが等しく文化に触れる機会の提供 ⑤ 子どもや若者の文化活動の充実 ⑥ 草津らしい個性ある文化の創出 ⑦ 文化を通じたまちづくりを推進 ▼成果指標(目標) ① 公演型事業数:14事業 ② アウトリーチ型事業数:2事業 ③ アートセンター相談件数:25件		▼成果指標(結果) ① 公演型事業数:15事業 ② アウトリーチ型事業数:1事業 ③ アートセンター相談件数:21件 新型コロナウイルスの影響により、一部中止になった事業もあるが、YouTubeを活用するなど、市文化振興計画に基づき、工夫して事業を実施した。竣工後、クリアホールは32年、アミカホールは28年を経過し施設、設備が劣化しているが、市と連絡を密に取り、大きな事故を防ぐよう努めた。利用者アンケートの結果も良好で、適切に施設の管理・運営が行われたと考える。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
「あなたらしさ」をプロデュースする文化ホール」を基本理念に、豊かな文化の創造に寄与するため、子どもから大人まで多くの市民に喜んでいただける事業を展開するとともに、貸館については、コロナ感染症感染拡大防止対策を徹底し、開催要件を状況に応じて見直しを行いながら、感染者ゼロに抑え安全安心を確保するとともにサービスの質の向上を意識した管理運営を行った。 利用状況については、新型コロナウイルス感染症の影響および改修工事により利用件数は、クリアホールは1,037件(うちコロナによるキャンセル件数78件)、アミカホールは988件(うちコロナによるキャンセル件数124件)と大幅に減となった。 ▼成果指標(結果) ① 公演型事業数 15事業 ② アウトリーチ型事業数:1事業 ③ アートセンター相談件数:21件		(非公募について) (公財)草津市コミュニティ事業団は、市の指定する中間支援組織であり、市だけでは実現が困難であった施策の展開について、市と協働しながら取り組まれてきた。また、草津の文化の担い手の育成、文化的資産の活用にも積極的に取り組まれ、文化を通じたまちづくりに貢献いただいている。 (利用料金制について) 予約システムの導入、積極的な広報などにより、利便性の向上および利用の促進に取り組まれている。また、利用者アンケートの結果からも料金設定に概ね満足との評価を得ていることから、利用料金制度を継続することで、指定管理者の経営努力を促したい。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・文化ホールの運営および維持管理に関すること。 ・草津市立草津アマカホール、草津クレアホールの各条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること。 	

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

文化振興事業（管理業務仕様書P.3）				
評価項目1		市（施設所管課）の評価		
評価項目1	上半期評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を変更し実施した。YOUTUBEを舞台にリモート音楽会『アマカで会いましょう』『クレアで会いましょう』プロジェクトを実施した他、これまで音楽会等自主制作した14作品をYOUTUBEで配信した。また、市民に身近なホールとして文化ホール職員がわかりやすく伝えるコミュニティえふえむ番組を制作した。	上半期評価	市文化振興計画に位置付ける重点プロジェクトに取り組むため、県から文化芸術×共生社会プロジェクトの委託事業を受託し、市、関係団体と連携し企画を検討した。また、公演の代わりにYouTubeを活用したりリモート音楽会を開催し、新型コロナ感染症の影響下においても実施できる事業を企画した。
	☆☆☆☆	クレア舞台芸術学校2020 草津歌劇団の4期生の延期公演を実施し、同時にYOUTUBE配信（アクセス件数2,847件）を行った	☆☆☆☆	
	下半期評価	市民プロデューサー育成、市民パーソナリティ育成を目的とした『市民とともに創るコンサート』を実施するとともに、滋賀県アートコラボレーション事業による公演等を実施した。また、草津市と連携した文化芸術×共生社会プロジェクトモデル事業『ルーフトップコンサート』や『みんなとちかコンサート2021』を、車いす席の増設や会場スロープの設置、わかりやすいチラシによる事業周知を行うなど社会包摂型の参加型プログラムとして実施した。	下半期評価	新型コロナウイルスの影響により、一部中止になる事業があったものの、文化芸術共生社会プロジェクトやひとり親家庭のコンサート招待等に取り組み、市と連携して誰もが文化に触れる機会の充実に寄与した。また、公演の代わりにYouTubeを活用したりリモート音楽会を開催する他、アーカイブを作成するなど、新型コロナ感染症の影響下においても積極的な事業展開を行った。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	

利用者満足度に関すること（管理業務仕様書P.3）				
評価項目2		市（施設所管課）の評価		
評価項目2	上半期評価	管理業務仕様書に基づき、年間を通して施設利用者へのアンケートを実施した。また、コロナ禍の中で、ホールでは草津歌劇団の公演を行うとともに同時にオンライン配信を行うなど、あらゆる市民に楽しんでいただける工夫をしながら実施し、好評を得た。また、貸館においては、利用者とともに感染対策を実施しながら、ホールでは中学・高校の吹奏楽部の練習に、展示ホールでは展示会等でご利用いただき、評価をいただいた。	上半期評価	管理業務仕様書に基づき、施設利用者へのアンケートを随時行った。飛沫感染対策用のパーティションを制作し貸し出すなど利用者の声に対応した。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	アンケート集計では、クレアホール・アマカホールともに「受付対応」で93～97%、「施設・備品の清潔さ」では90%近くの利用者から「満足・やや満足」の評価を得た。「使用料・使用時間」についても90%以上の利用者から満足との回答を得た。	下半期評価	利用者アンケートの集計結果は良好であった。新たに活動室にピアノを設置する他、内壁や建具の修繕をDIYで行うなど工夫しながら美観の向上に取り組むなど、利用者の満足度向上に努めた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	

貸館に関する業務（管理業務仕様書P.4）				
評価項目3		市（施設所管課）の評価		
評価項目3	上半期評価	新型コロナウイルス感染症対策について、草津市と連携を密にし、4月11日から5月31日までを休館するとともに3密の回避、手指の消毒液設置、貸館の収容率50%にするなど感染対策を徹底し、利用者の安全・安心を確保した。また、文化庁の文化芸術振興費補助金文化施設の感染症防止対策事業に申請を行い、サーモグラフィカメラと空間除菌デバイスを購入し、あらゆる方面で感染症対策を行った。	上半期評価	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、感染の拡大を防ぎながら貸館業務に取り組んだ。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	貸館においては、新型コロナウイルス感染症の影響および改修工事により、実質の利用件数は、クレアホールは1,037件（うちコロナによるキャンセル件数78件）、アマカホールは988件（うちコロナによるキャンセル件数124件）と大幅に減となった。しかしながら、上半期と同様に新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、貸館内容や状況に応じて、貸館収容率を変更するなど、草津市との連絡を密にしながら、感染症対策を実施し、安全安心を確保した。	下半期評価	新型コロナウイルス感染症の影響等により貸館の実績（施設利用者数前年度比：クレアホール33%、アマカホール38%）は大幅減となったが、同感染症対策を徹底し、感染の拡大を防ぎながら貸館業務に取り組んだ。
	☆☆☆		☆☆☆	

施設の維持管理（管理業務仕様書P.7）				
評価項目4		市（施設所管課）の評価		
評価項目4	上半期評価	仕様書に定める点検回数を遵守するとともに、必要に応じて、迅速に設備の改修を行うことで、安全な施設管理に努めた。	上半期評価	施設および設備の日常の維持管理の他、中長期の改修計画について、市と連携して取り組んだ。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	仕様書に定める点検回数を遵守した。10月に非常用発電機不備の指摘を受け、市と密接に連絡を取り合い、早期復旧に努めている。	下半期評価	日常の維持管理の他、外構の石積み、吊物機構、自家発電機等の高額な緊急修繕にも市と密に連絡を取り対応した。
	☆☆☆		☆☆☆	